**卒論チェックシート**

学籍番号　　　　　7535011M　　　　　　氏名　　　　　小田恵吏奈

**目的**

卒論本文に関して，以下の項目１）～５）に関する記述が必要です．５項目についての記述も卒論評価の１部とします．この卒論チェックシートを完成させ，卒論提出前に記入漏れがないことを確認してください．なお，このシートは卒論審査資料の一つとなります．卒論と同様にしっかり完成させ，卒論と一緒に主査と副査へ提出してください．

**提出方法**

1.　チェック項目について明確・簡潔に回答を記入する．また，対応記述を含む本文のページ番号を明記する（例：3ページ，3,5,7ページ，3-10ページなど）．全ての項目について回答し，卒論チェックシートを完成させる．

1. 完成した卒論チェックシートを，卒論を収めたファイルの最後尾に綴じる．
2. 主査（１名）と副査（２名）に卒論と卒論チェックシートを綴じたファイルを提出する（従って，卒論とともに卒論チェックシートも３部用意する，卒論チェックシートの記述内容は3部とも同一で良い）．
3. **研究の目的・目標を明確に設定できる．（卒論評価項目１）**

**[チェック項目]**研究目的・目標を説明してください．

　利用者の多い大学の講義室での3密状態を避けるために，IoTセンシング技術を用いて，室内環境をリアルタイムにモニタリングし，利用者と管理者に感染リスクを注意喚起する「感染症予防サポートシステム」の開発を目的とする．このシステムの一部である施設内の環境情報を利用者対象別に提供する「室内環境情報通知デバイス」を開発することを目標とする．

本文におけるページ番号：　　　1,2

1. **人類や社会に望まれ、貢献する研究目標を立てられる．（卒論評価項目２）**

**[チェック項目]**　論文に示された研究目標が，情報工学を応用し人類・社会に貢献するものであることを説明してください．（社会との関わりなど）

　本研究で開発したシステムは，二酸化炭素濃度と施設の利用状況（利用者数）をリアルタイムに測定し，感染リスクが高く危険な状態になる前に利用者へ換気する注意喚起を行い，感染症の感染リスクを回避することができる．また，室外の利用予定者に対しては，施設の利用状態を事前に通知することで，感染の密閉の未然防止に貢献する．

本文におけるページ番号：　　1

（裏にもあります）

1. **研究の目的・目標を実現するための具体的研究方法を示し、実行できる．（卒論評価項目３）**

**[チェック項目]** 論文に示された研究方法の具体性や，研究目的・研究目標の達成を目指すためにどのような意味がありそのような研究方法を採用したのか説明してください．

　V字モデルに従ってグループで議論しながら共同で行った．また，共同開発中に，グループ内での考え方・進め方に矛盾が生じないように，UMLを用いて，システムの要求分析，基本設計，詳細設計を行った．また，無線マイコンモジュールTWELITEを用いてエッジデバイスを実装した．

本文におけるページ番号：　　　　2

1. **研究の内容が，情報工学技術の発展や応用に貢献するものである．（卒論評価項目４）**

**[チェック項目]** 論文で示された研究内容が，情報工学技術の発達や応用に貢献するものであることを説明してください．（研究内容の新規性など）

　本研究で開発したシステムは，施設の環境値の収集と施設滞在人数の推定により事前に設定した感染リスクを能動的に通知することが施設での感染リスク軽減及び感染の未然防止に貢献する．

本文におけるページ番号：　　　　30

1. **卒業論文，卒業論文発表において，卒業研究の目的・目標，研究方法，研究成果が論理的に述べられる．（卒論評価項目６）**

**[チェック項目]** 論文で示された研究成果について説明してください．

　警戒レベル，換気要請の基準，入室危険度を設定し，警戒レベルおよび入室危険度はLED，換気要請はブザーによって，ユーザーに感染リスクの情報を，視覚や聴覚で分かりやすく能動的に通知することができた．

本文におけるページ番号：　　　　28

**[チェック項目]** 卒業研究の目的・目標，研究方法，研究成果がどのような章立てで述べられているか説明してください．

　　　第2章では本論文で用いる用語や研究方針について述べる．第3章では本システム全体の概要とV字モデルに従った本システムの設計について述べる．第4章では，デバイスの実装と検証結果について述べる．第5章では実装・検証した本システムの評価を行い，考察を示す．第6章では本研究のまとめを行う．

以上